

# 検査内容変更および新規項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきます。  
ご案内いたします。  
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 白

## 記

### ◆ 変更実施日

平成23年4月1日（金）ご依頼分より

### ◆ 変更項目

検査項目	梅毒定性 RPR法	Na(ナトリウム)
	梅毒定性 TPHA	K(カリウム)
	フェリチン	
	総蛋白(TP)(髄液)	
	総蛋白(TP)(蓄尿)	

### ◆ 新規項目

検査項目	梅毒定量 RPR(LA)
	梅毒定量 TP抗体(LA)

# 変更一覧表

案内書掲載頁	項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現	備考
76	5598 5	梅毒定性 RPR法	項目コードNo.	6386 0	5598 5	自動化法試薬への変更。および項目コードNo.、項目名称、検査方法、検体量、備考、その他、検査方法参考文献等の変更。
			項目名称	梅毒定性 RPR( LA )	梅毒定性 RPR法	
			検査方法	ラテックス比濁法	凝集反応	
			検体量	血清 0.5 mL	血清 0.3 mL	
			備考	乳び検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &ヨ	なし	
76	5373 1	梅毒定性 TPHA	項目コードNo.	6385 2	5373 1	自動化法試薬への変更。および項目コードNo.、項目名称、検査方法、検体量、備考、その他、検査方法参考文献等の変更。
			項目名称	梅毒定性 TP抗体( LA )	梅毒定性 TPHA	
			検査方法	ラテックス比濁法	PA	
			検体量	血清 0.5 mL	血清 0.3 mL	
			備考	乳び検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &ヨ	なし	
84	0115 6	フェリチン	備考	鉄欠乏性貧血および貧血のない鉄欠乏の診断基準は12ng/mL未満です。鉄剤の適正使用による貧血治療指針(日本鉄バイオサイエンス学会)]	なし	鉄欠乏、鉄欠乏性貧血の診断基準を追加いたします。
90	5203 9	総蛋白( TP )( 髄液 )	基準値	15 ~ 45 mg/dL	なし	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更。基準値、その他検査方法参考文献等の変更。
90	0246 3	総蛋白( TP )( 蓄尿 )	基準値	31.2 ~ 120.0 mg/day	0.13 g/day以下	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更。基準値、単位、その他検査方法参考文献等の変更。
			単位	mg/day	g/day	
105	0416 4	Na( ナトリウム )	備考	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存はナトリウムが低値を示しますので避けてください。 &ヨ	採血後は室温で放置し、2 ~ 3時間以内に血清分離してください。	データ影響要因の見直し。
105	0417 1	K( カリウム )	備考	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存又は溶血は、カリウムが高値を示しますので避けてください。 &ヨ	採血にあたっては、溶血しないようご注意ください。 &ヨ	

## 梅毒定性 RPR法

## 梅毒定性 TPHA

本検査におきまして、自動化法(ラテックス比濁法)の試薬に変更させていただきます。併せて、項目コードNo.、項目名称、検査方法、検体量、備考を変更させていただきます。

項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
5598 5	梅毒定性 RPR法	項目コードNo.	6386 0	5598 5
		項目名称	梅毒定性 RPR( LA )	梅毒定性 RPR法
		検査方法	ラテックス比濁法	凝集反応
		検体量	血清 0.5 mL	血清 0.3 mL
		備考	乳び検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &ヨ	なし

項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
5373 1	梅毒定性 TPHA	項目コードNo.	6385 2	5373 1
		項目名称	梅毒定性 TP抗体( LA )	梅毒定性 TPHA
		検査方法	ラテックス比濁法	PA
		検体量	血清 0.5 mL	血清 0.3 mL
		備考	乳び検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &ヨ	なし

### ▶ 現法と新法の比較

#### 梅毒定性 RPR法

		現法	
		+	-
新法	+	72	2
	-	1	45

(n = 120)

#### 梅毒定性 TPHA

		現法		
		+	±	-
新法	+	92	10	0
	±	1	1	0
	-	0	3	50

(n = 157)

#### 新検査方法参考文献

桜庭 尚哉: 医学と薬学 63(1): 103~109, 2010.(梅毒定性 RPR( LA ))  
高橋 勝幸, 他: 機器・試薬 33(1): 89~95, 2010.(梅毒定性 TP抗体( LA ))

## 梅毒定量 RPR(LA)

## 梅毒定量 TP抗体(LA)

左記の定性検査の検査方法変更に伴い、定性と同じ検査方法(ラテックス比濁法)による定量検査を新規受託開始いたしますので、併せてご利用くださいますようお願いさせていただきます。

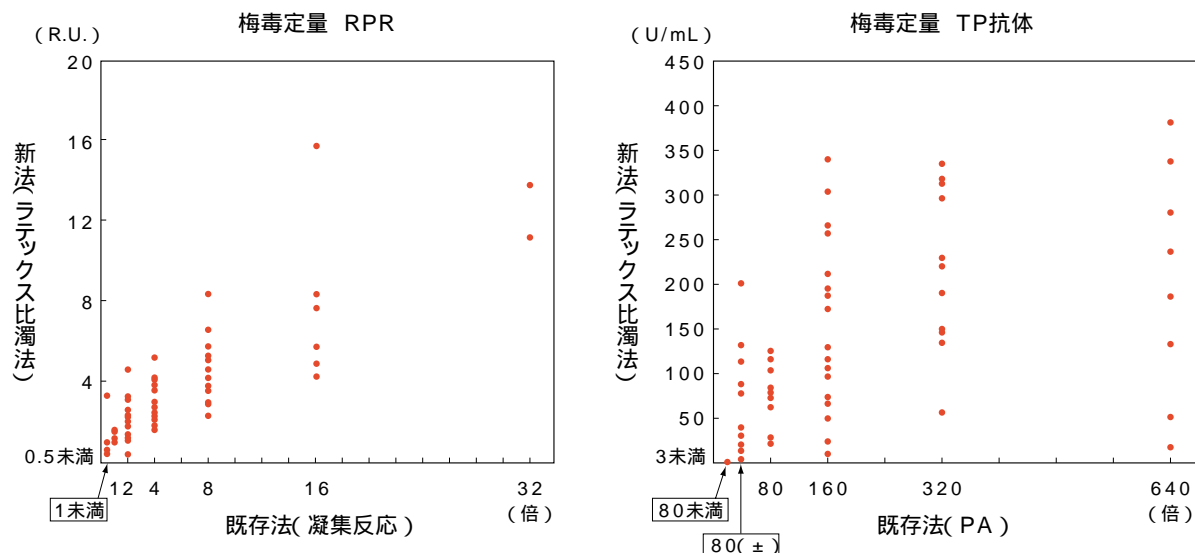
検査項目名	梅毒定量 RPR(LA)	梅毒定量 TP抗体(LA)
項目コードNo.	6372 5	6371 8
検体量	血清 0.5 mL	血清 0.5 mL
容器	→ X(ポリスピッツ)	→ X(ポリスピッツ)
保存方法	凍結保存してください。	凍結保存してください。
所要日数	2~4日	2~4日
検査方法	ラテックス比濁法	ラテックス比濁法
基準値(単位)	1.0未満(R.U.)	5未満(U/mL)
実施料	34点 (D012の5 梅毒脂質抗原使用検査)	53点 (D012の6 TPHA試験)
判断料	144点(免疫学的検査判断料)	144点(免疫学的検査判断料)
備考	乳び検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 & ㊦	乳び検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 & ㊦

[6371-8]梅毒定量 TP抗体(LA)判定基準

U/mL	判定
5 未満	陰性
5 ~ 9	判定保留
10 以上	陽性

### ▶ 参考資料(既存法と新法の比較)

既存法と新法は、単位および基準値(判定基準)が異なります。比較データをご参照ください。



### 検査方法参考文献

桜庭 尚哉: 医学と薬学 63(1): 103~109, 2010.(梅毒定量 RPR(LA))  
 高橋 勝幸, 他: 機器・試薬 33(1): 89~95, 2010.(梅毒定量 TP抗体(LA))

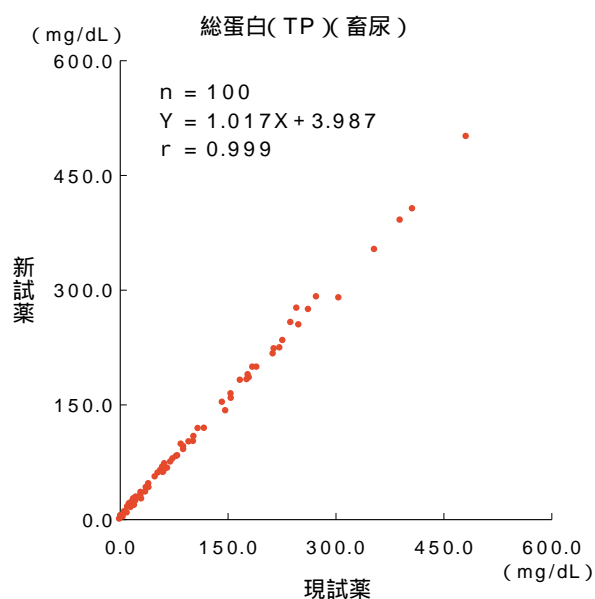
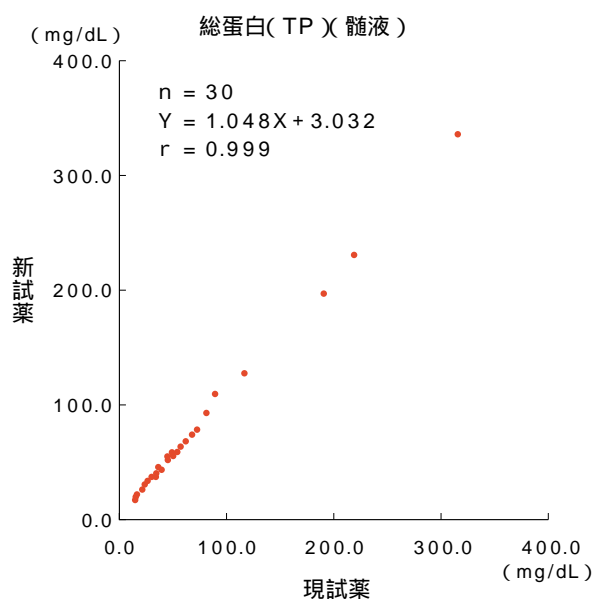
## 総蛋白(TP)(髄液・蓄尿)

本検査におきまして、現試薬の販売中止のため、代替試薬に変更させていただきます。試薬変更に伴い、基準値の再設定および蓄尿材料の単位を変更させていただきます。

蓄尿の新基準値はメーカー設定値です。また、髄液基準値は文献値です。

項目 コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
5203 9	総蛋白(TP) (髄液)	基準値	15 ~ 45 mg/dL	なし
0246 3	総蛋白(TP) (蓄尿)	基準値	31.2 ~ 120.0 mg/day	0.13 g/day以下
		単位	mg/day	g/day

### ▶ 現試薬と新試薬の比較



#### 新検査方法参考文献

田中 雅美, 他: 機器・試薬33: 393 ~ 397, 2010.

## 変更後および新規項目の検査内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
6386 0 (5E074)	梅毒定性 RPR(LA)	血清 0.5	↓ X	凍結	2~4	15 5	ラテックス 比濁法	陰性	乳び検体ではデータ影響を及ぼす場合 がありますので避けてください。 &ヨ
6385 2 (5E075)	梅毒定性 TP抗体 (LA)	血清 0.5	↓ X	凍結	2~4	32 5	ラテックス 比濁法	陰性	
6372 5 (5E074)	梅毒定量 RPR(LA)	血清 0.5	↓ X	凍結	2~4	34 5	ラテックス 比濁法	1.0未満 (R.U.)	
6371 8 (5E075)	梅毒定量 TP抗体 (LA)	血清 0.5	↓ X	凍結	2~4	53 5	ラテックス 比濁法	5未満 (U/mL)	
0115 6 (5C095)	フェリチン	血清 0.4	↓ X	凍結 (14日)	2~4	120 3	CLEIA	M 39.4 ~ 340 F 3.6 ~ 114 (ng/mL)	鉄欠乏性貧血および貧血のない鉄欠 乏の診断基準は12ng/mL未満です。 [鉄剤の適正使用による貧血治療指針 (日本鉄バイオサイエンス学会)]
5203 9 (1C010)	総蛋白(TP)	髄液 0.5	X	凍結	2~4	11 3	ピロガロール レッド法	15 ~ 45 (mg/dL)	
0246 3 (1A015)		蓄尿 1	Y	凍結 (1ヵ月)		7 1		31.2 ~ 120.0 (mg/day)	
0416 4 (3H010)	<b>緊急</b> Na(ナトリウム)	<b>速やかに遠心</b> 血清 0.5	↓ X	凍結 (1ヵ月)	2~4	11 3	電極法	136 ~ 147 (mEq/L)	採血後は、血液凝固を確認後、速や かに血清分離してください。 血液のまま放置、冷却保存はナトリ ウムが低値を示しますので避けてく ださい。 &ヨ
		蓄尿 5	Y	凍結		11 3		1.6 ~ 5.8 (g/day)	
0417 1 (3H015)	<b>緊急</b> K(カリウム)	<b>速やかに遠心</b> 血清 0.5	↓ X	凍結 (1ヵ月)	2~4	11 3	電極法	3.6 ~ 5.0 (mEq/L)	<b>溶</b> 採血後は、血液凝固を確認後、速や かに血清分離してください。 血液のまま放置、冷却保存又は溶血 は、カリウムが高値を示しますので 避けてください。 &ヨ
		蓄尿 5	Y	凍結		11 3		1.0 ~ 3.9 (g/day)	

保険請求上の名称は「梅毒脂質抗原使用検査(定性)」です。

保険請求上の名称は「TPHA試験(定性)」です。

保険請求上の名称は「梅毒脂質抗原使用検査」です。

保険請求上の名称は「TPHA試験」です。

1 : 尿・糞便等検査判断料

3 : 生化学的検査( )判断料

5 : 免疫学的検査判断料

### [6371-8]梅毒定量 TP抗体(LA) 判定基準

U/mL	判定
5 未満	陰性
5 ~ 9	判定保留
10 以上	陽性